

## 1 穂波東校の概要

### (1) 沿革・構成・組織

本校は平成 29 年度の楽市小学校と平恒小学校の統合による穂波東小学校の設立を経て、平成 30 年度に穂波東小学校と穂波東中学校による「飯塚市立小中一貫校穂波東校」として開校しました。

本校では小・中学校のまとまりをそれぞれ小学部、中学部と呼んでいます。また、小中一貫校としての学年区分は、飯塚市の教育施策に基づき、1 年生から 9 年生までを前期（1 年生から 4 年生）、中期（5 年生から 7 年生）、後期（8 年生から 9 年生）の 3 期に区分した、所謂、4－3－2 制です。

本校の学校運営は、小学部・中学部それぞれに学校長が配置されており、言わば、2 人の学校長の共同経営による学校運営を行っています。また、円滑な共同経営の実現に向け、1～2 週間毎に小中合同経営部（構成は小中の学校長、教頭、主幹教諭）による運営会議を実施しています。

校務分掌組織は、小中共通に教務部・研修部・生徒指導部・健康教育部・事務部の 5 部会で構成されており、これにより小中の協働体制の推進を図っています。また、研究組織は、小中の全教職員から成る小中合同研究部会が組織され、小中共通の教育課題の解決に向け、研究と実践に取り組んでいます。

### (2) 学校教育目標

本校（小中共通）の学校教育目標は「社会を生き抜く力の根っこを育てる」です。

この「社会を生き抜く力の根っこ」とは、変化の激しい社会の中でも逞しく生きていくための基盤となる資質・能力のことです。穂波東校では、「社会を生き抜く力の根っこを育てる」を小学部・中学部共通の目標として掲げ、穂波東校 9 年間の教育活動を通じて、組織的・計画的に目標達成に向けて取り組んでいます。

---

### 穂波東校教育目標

小中共通テーマ：「社会を生き抜く力の根っこを育てる」

小学部サブテーマ：～ やさしく・かしこく・たくましい児童の育成 ～

中学部サブテーマ：～ 自己や社会の未来を前向きに創造する生徒の育成 ～

---

## 2 穂波東校が目指す小中一貫教育

### (1) 穂波東校が目指す小中一貫教育

穂波東校が目指す小中一貫教育は、次の通りです。

<h3>穂波東校が目指す小中一貫教育</h3>
-------------------------

<p>小学部・中学部それぞれの充実した教育活動を土台とし、義務教育 9 年を通して、小・中が協働して、小・中共通の教育目標の達成に向け組織的・計画的に取り組む教育。</p>
--

## (2) 穂波東校が目指す児童生徒像、教師像

穂波東校では、前述した「穂波東校が目指す小中一貫教育」の実現に向け、児童生徒並びに小中の教師は、互いに伝え合い、協働し、新たなことを創り出す活動を行います。この営みは、互いの違い、互いの良さを受け入れながら、コミュニケーション、コラボレーションを行い、そこから更にイノベーションへと繋がる取組です。このような取組を通して穂波東校は次のような児童生徒像並びに教師像の育成をねらいとしています。

### 穂波東校が小中一貫教育を通して目指す児童生徒像

上級生は下級生の手本となり、下級生は上級生を手本とし、互いに係わり合い、学び合い、高め合う児童生徒。

### 穂波東校が小中一貫教育を通して目指す教師像

小学部・中学部の互いの違いや良さを認め合い、学び合い、協力し合って9年間の連続した児童生徒の確かな成長に資することができる教師。

## (3) 穂波東校の「小中一貫教育の具体的な取組」とその要点

穂波東校では、前述した「穂波東校が目指す小中一貫教育」の実現に向け、主に「教育活動づくり」「学校運営づくり」「校内環境づくり」の3つの柱で具体的な取組を積み上げています。

### 穂波東校における小中一貫教育の具体的な取組の一例

#### 教育活動づくり

- 「9年間活動プラン」に基づく教育活動
- 児童が中学部エリアに出向いて授業を受ける「チャレンジ授業」
- 中学部の生徒が先生役となり小学部の児童に学習の支援等を行う「Co-Learning Time」等の異学年交流

#### 学校運営づくり

- 穂波東校小中経営部会の定期的な実施
- 小中一体化した穂波東校校務分掌組織の編成・機能化
- 穂波東校小中合同研究会の定期的な実施
- 穂波東校学習内容系統表、穂波東校9年間キャリア教育指導計画等、基本構想の策定

#### 校内環境づくり

- 施設一体型校舎の機能的活用
- 共通エリアでの児童生徒の作品、部活動の表彰物（優勝旗や賞状等）の展示
- 全エリアでの英語の掲示物の提示